

記録的な大雪に見舞われた今冬

積雪深 238cm に到達！！



今年の冬は、例年以上の積雪に見舞われ、厳しい冬となりました。

なぜ、今冬はこんなに雪が多いのでしょうか？

原因は定かではありませんが、昨年12月上旬に南米ペルー沖の赤道付近で海面水温が低い状態が続く「ラニーニャ現象」が発生し、この「ラニーニャ現象」が日本に接近したことが一因ではないかといわれています。

「ラニーニャ現象」が日本に接近すると、北日本から西日本の広い範囲で平年より気温が低くなり、日本海側では雪が多くなると予想されています。

昨年9月に気象庁が「今年の冬は暖冬で雪は平年より少ない」との発表がありました。この「ラニーニャ現象」の発生が予報を狂わせたのかもしれません。

今年の積雪深は238センチ（平成30年2月26日）に到達し、記録が残る平成6年度からの積雪・降雪量では、過去最大の積雪を観測しました。

本町では、今冬の大雪への対応として、除雪経費の増額補正を行ない、除雪・排雪に取り組んでおりますが、

今年は、本町だけではなく、近隣市町も積雪が多く、排雪ダンプ車が思うように確保できない等の事態に見舞われました。

これから暖かくなり、融雪が進むと上流からの雪解け水等により河川の増水が予想されます。気象情報などの情報収集に心がけ、河川に近づかないなど十分注意して下さい。



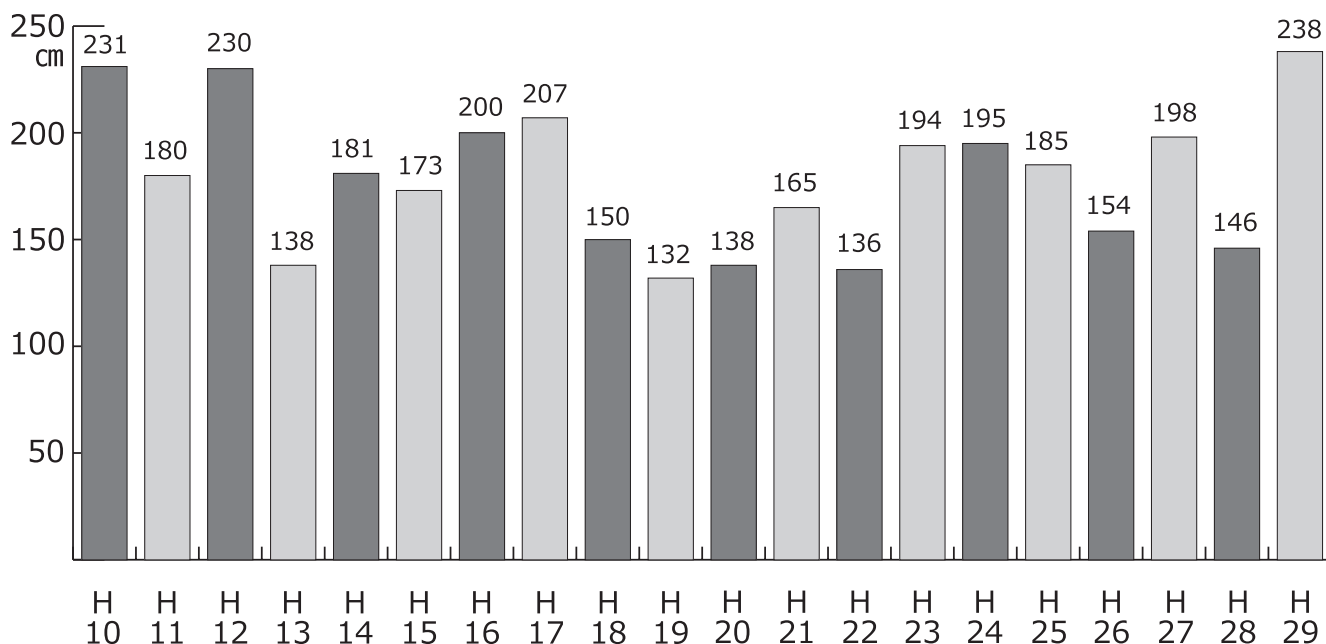
▲除雪センターに設置されている観測計（3月7日撮影）

過去の積雪深と降雪量をグラフで比べてみよう

平成 10 年度から平成 29 年度（3 月 5 日現在）までの最大積雪深と降雪深累計をグラフで表してみました。

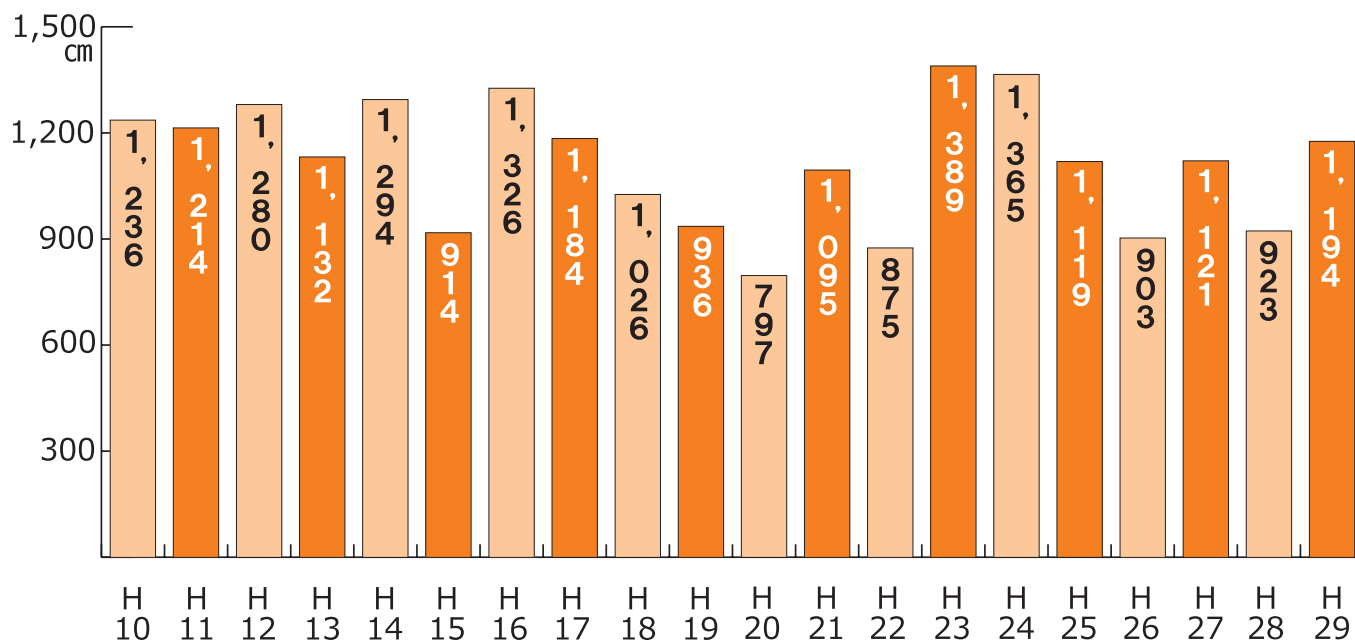
今年は降雪量は平年並みですが、積雪深が多いことがグラフから読み取れます。これは、気温が低く溶ける前に降り積もったと考えられます。

○最大積雪深（H 10～H 29 年度）



H 10～29 年の平均積雪深：178.5 cm

○降雪量累計（H 10～H 29 年度）



H 10～H 29 年の平均降雪量：1,115.2 cm

※平成 29 年度は平成 30 年 3 月 1 2 日現在の数値です。

積雪深：自然に降り積もって地面をおおっている雪の深さをいいます。

降雪量：期間中に降ってきた雪の量をいいます。